



# 震災が残したものの。 震災が生んだものの。

1 995年、この年は日本における「ボランティア元年」と呼ばれています。その源はもちろん、その年の1月17日、神戸を中心とする阪神・淡路地区を襲った大災害「阪神・淡路大震災」に端を発しています。6000人を超える死者。その何倍もの負傷者。目も当てられない街の被害状況。本人が、あるいは友人や家族がなんらかの形で被害を被った人々にとって、1995年1月17日は「人生の転換点」とも言える体験であったことは言うまでもなく、いまだ癒

震災の爪痕が残る被災地域で見たボランティアの姿は、前林教授にとって、「進むべき道への道しるべとなりました。震災後、ボランティア活動への道を歩み始めた前林教授は、現在JICA(国際協力機構)の緊急援助隊として活動するほか、国際的なボランティアNGOの代表として、カンボジアの識字率向上を目的とした絵本の制作・配布などの活動を神戸学院大学の学生たちと一丸となつて精力的に行っています。社会人のみの活動ではなく、学生たちを多く

たちの安否を確認するためにゼミ生たちの暮らす家々を何日もかけて歩きまわりました。その道すがら、日本中、世界中から集まるボランティアの人々の姿を目の当たりにしました。自分のためだけでなく、「誰か」のために働くこと。

えない心の傷を抱える人々も少なくありません。神戸学院大学人文学部の前林教授もまた、阪神・淡路大震災によって転機を迎えた一人。震災後、指導するゼミ生

取り入れたボランティア活動を行う理由を、前林教授は「私の活動の半分はカンボジアや恵まれない人々のため。ですがもう半分は、日本の若者たちに『誰かのために行動する』大切さを学んでもらうためのもの」と話します。豊かな人生とは、モノやお金では得ることはできません。心を豊かに育ててこそ、本当の意味で「豊かな人生」となり得るのです。前林教授は、学生たちに自分の人生を豊かに育てる「きっかけ」をつかんで欲しいと考えています。

神戸学院大学 人文学部 教授  
学際教育機構 防災・社会貢献ユニットユニット長  
**前林 清和**  
KIYOKAZU MAEBAYASHI

2006年4月、神戸学院大学に生まれた、学部や学科の壁を越えた学びを実現する学部横断型学修システム「学際教育機構」。その第一歩としてスタートした「防災・社会貢献ユニット」は、神戸が経験した阪神・淡路大震災という未曾有の災害と、その後の復興作業で培ったさまざまなノウハウを学生たちに伝え、社会に貢献できる人材育成を目的とし、文部科学省の選定する現代GP(現代的教育ニーズ取組支援プログラム)にも採択されました。前林教授は今、この防災・社会貢献ユニット長として、「知識」と「技術」そして豊かな「精神」と「行動力」を兼ね備えた学生の育成に力を注いでいます。

防災・社会貢献ユニットのカリキュラムには、兵庫県庁をはじめ神戸市役所、JICA兵庫、人と防災未来センター、CODE海外災害援助市民センター、読売新聞など公民問わず、神戸地区を拠点とするさまざまな団体が提携する講座が設定されています。これは、神戸だからこそ実現した講座と言つて過言ではありません。阪神・淡路大震災を経験した神戸という街。だからこそ、防災や社会貢献のノウハウを持った人材の育成の重要性を深く認識しているのです。

防災・社会貢献ユニットから卒業生が羽ばたく3年後を目指して。今、神戸の街が新たな人材の育成のために、一丸となつています。



## 神戸学院大学

●有瀬キャンパス / 〒651-2180 神戸市西区伊川谷町有瀬18 TEL. 078 - 974 - 1551 (代表) FAX. 078 - 974 - 5689

[法学部] 法律学科・国際関係法学科(2007年4月法律学科と統合予定。認可申請中) [経済学部] 経済学科・国際経済学科 [経営学部] 経営学科  
[人文学部] 人文学科・人間心理学科 [総合リハビリテーション学部] 医療リハビリテーション学科・社会リハビリテーション学科 [栄養学部] 栄養学科  
[薬学部] 薬学科(6年制) [大学院] 法学研究科・経済学研究科・人間文化科学研究科・栄養学研究科・薬学研究科・食品薬品総合科学研究科

●長田キャンパス / 〒653-0862 神戸市長田区西山町2-3-3 TEL. 078 - 691 - 4888 (代表) FAX. 078 - 691 - 4333  
実務法学研究科(法科大学院)

ポートアイランド  
新キャンパス  
2007年4月 開設